

ねっとわーく通信

こんにちは…**まもりん**です。
 昨年の秋に**キュータ**と一緒に大活躍しました。
 「秋の火災予防週間」に合わせて、**まもりん**と**キュータ**は、
 ひとりぐらし等高齢者登録をされている方のお宅を訪問して、
 火災点検などをしてきました。



火災警報器は作動するかな？



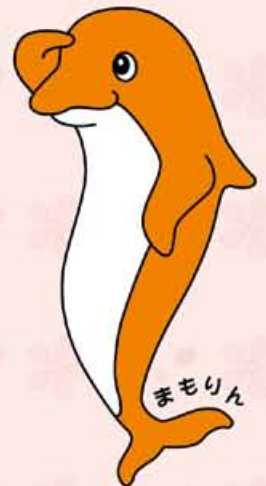
きちんと設置されていますね



キッチンまわりも点検しましょう



家具の転倒防止器具も有効ですよ



「見守りめぐねっと」とは

地域の皆さんが、高齢者の「ちょっと気がかり」なことに気づいたときに包括支援センターへ連絡いただくことで、高齢者をゆるやかに見守っていく取り組みです。各地区の包括支援センターが中心となって、PRキャラクター**まもりん**の活躍の場を増やしていきます。多くのかたに関心を持っていただき、いくつもの「見守りの輪」を作っていきます。ご協力をお願いします。

目黒区高齢者見守りネットワーク
キャラクター

— 支え合いの心で、高齢者に安心なまちを —

特集 高齢者と家族の幸せのために ー地域住民だからできる高齢者虐待防止ー

高齢者虐待は、高齢者の人権を侵害する深刻な問題です。身体・精神面で計り知れないダメージを与えるだけでなく、場合によっては生命を奪いかねません。自分の人生を自分で決め、周囲からその意思を尊重されること、つまり人生を尊厳をもって過ごすことは、介護が必要であっても無くとも誰もが望むことです。しかし現実には、介護にあたる家族などが高齢者の人権を侵害する「高齢者虐待」が問題となっています。高齢者とその家族を「孤立させない」ことが、高齢者虐待の防止につながります。高齢者と家族がともに尊厳のある暮らしを続けられるように、地域の皆さんの見守りが必要です。

高齢者虐待の背景

「虐待するなんて、ひどい人だ」と思われがちですが、高齢者虐待の背景にあるさまざまな要因を見ると、誰もが直面する可能性のある問題であることがわかります。

虐待者の側の要因として、「介護疲れ」があります。先が見えないのが介護の難しいところで、「わたしがやらなくては」とがんばる人ほど、介護の負担を一人で抱え込み、心身ともに疲れ果ててしまう傾向があります。

高齢者の側の要因の一つとして、認知症による言動の混乱があります。家庭内で起きる高齢者虐待の8割は認知症のケースと言われており、認知症の人とその家族への支援が、虐待防止の上でも重要となっています。

**こんなサインを見逃さないで！
早期発見・連絡で虐待を防ぎましょう**



- ★ 暴力を受けている、どなられる、年金を取られるなどと訴えている
- ★ 家から怒鳴り声や泣き声が聞こえたり、大きな物音がする
- ★ あざや傷があるのに理由を聞いてもはっきりしない
- ★ 家族が介護でとても疲れている
- ★ 介護が必要なのに、サービスを利用している様子がない
- ★ 高齢者の服が汚れていたり、お風呂に入っている様子がない

高齢者虐待の予防や早期発見のためには、地域の皆さんの気づきが、とても重要です。高齢者の様子で「ちょっと変だな」と感じたり、介護している家族に「大丈夫だろうか」と心配に思ったときは、各包括支援センターにご連絡ください。



各包括支援センター（裏面参照）へご連絡ください
ちよっと変だなと感じたら…

包括支援センターでは…

包括支援センターでは、状況を確認し、高齢者と家族の両方を支援するかたちで、問題の解決を図っていきます。通報の秘密は守られますので、安心してご連絡ください。

虐待かしら…と迷ったら…

「高齢者虐待防止・養護者支援法」は、虐待に気づいた人に、市区町村に通報することを求めています。

早期に発見し、第三者が介入することで、虐待の深刻化を防ぐことができます。

高齢者虐待は、当事者に自覚が無かったり、虐待を受けている高齢者が家族をかばったりすることなどから、周囲には見えにくいものです。また、他者が口を出しにくいということもあります。

しかし、虐待を止めることは虐待をしている家族のためにも必要なことです。迷ったときは、各包括支援センターに相談してください。

虐待を受けている高齢者本人が相談することも、もちろんできます。

目黒区での実態は…

平成22年度の発生状況

相談・通報受理件数 62件
虐待と判断した件数 39件

●虐待の種別 (複数に該当するものを含む)

- 身体的虐待 ▶ 約8割
- 心理的虐待 ▶ 約5割
- 介護・世話の放棄・放任 ▶ 約2割
- 経済的虐待 ▶ 約1割

●虐待者の高齢者との続柄 (複数に該当するものを含む)

- 子 ……約6割
- 配偶者 ……約2割
- 子の配偶者 ……約1割
- その他 ……約1割



見守りめぐねっと・この1年の取組み

熱中症予防活動

高齢者の熱中症予防を呼び掛けるまもりんうちわを作成し、医院、歯科医院、薬局やリバーサイドフェスティバル、目黒のSUNまつりなどで配布しました。ひとりぐらし等高齢者登録をされている方には民生・児童委員が訪問して配布しました。

目黒消防署との連携での火災予防運動

平成23年11月には目黒消防署と共同で、ひとりぐらし等高齢者登録をされている方の約4分の1の自宅を訪問し、防災相談や火気器具などの確認をしました。

今後も、春・秋の火災予防週間の時期に順次行う予定です。

地域での顔の見えるネットワークづくり

平成23年は、公衆浴場、理容店、美容店などが新たに協力事業者に加わり、登録事業者数は平成24年1月現在で303事業者に増えました。

各包括支援センターの職員が、地区の協力事業者を訪問し、ステッカーや「ねっとわーく通信」を配布することで顔の見えるネットワークづくりを進めました。

協力機関連携会議の開催

第1回(平成23年9月)は、夏期における熱中症対応や振り込め詐欺の実態などについて、第2回(平成23年12月)は、火災予防運動の取り組みなどについて、情報交換・意見交換を行いました。



第3回目黒区高齢者見守りネットワーク連絡会の開催

平成24年1月27日、総合庁舎大会議室で、第3回目黒区高齢者見守りネットワーク連絡会が開催されました。見守りめぐねっとの協力団体・協力機関・協力事業所や包括支援センター・区関係課などが出席し、1年間の取組み状況の報告や今後の取組みについての意見交換を行いました。

平成23年の通報・相談件数は361件

高齢者の見守りや安否確認について各包括支援センターに寄せられた通報や相談(本人や親族以外からのもの)は、年間で361件でした。

通報・相談者の内訳は右グラフのとおりで、民生・児童委員が約3分の1を占めています。

民間事業者
(配達・店舗)
12%

家主・
マンション管理人
6%

介護・医療・
行政機関
31%

民生・
児童委員
31%

近隣住民・知人
20%

高齢者の「ちょっと気がかり」なことに気づいたら

北部包括支援センター	5428-6891
東部包括支援センター	5724-8030
中央包括支援センター	5724-8066
南部包括支援センター	5724-8033
西部包括支援センター	5701-7244

まもりん今日このごろ

区のホームページで、まもりんの日頃の活動をお知らせしています。

目黒区まもりん今日このごろ

検索

